

Ging

JRiver
Media Center



取扱説明書

1. インストール方法	P2
2. 日本語への切り替え方法	P4
3. ライセンスキーの登録方法	P5
4. アンインストール方法	P7
5. 画面説明	P8
6. メニュー説明	P9
7. 操作説明	P10
7-1. ファイルをインポートするには	P10
7-2. ファイルを再生するには...	P14
7-3. ディスクをリッピング...	P14
7-4. ディスクに書き込み...	P14
7-5. メディアファイルを整理するには...	P15
7-6. 画面スキームを使用...	P18
7-7. プレイリストを管理...	P18
7-8. ファイルプロパティを編集...	P19
7-9. メディアファイルを検索...	P19
8. ログの送信方法	P20
9. サポート連絡先	P21

パッケージ版をご利用の方

CD-ROMをパソコンに挿入し、
「MediaCenter200063.exe」を
ダブルクリックして実行します。

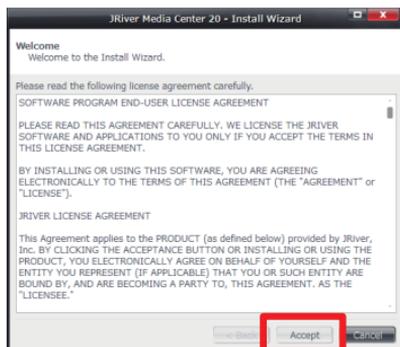
ダウンロード版をご利用の方

本製品(圧縮ファイル)を解凍後、
「MediaCenter200063.exe」を
ダブルクリックして実行します。

※本製品を初めてインストールされる場合は、英語でインストール手順が表示されますが、インストール後、日本語に切り替えてお使い頂けます。

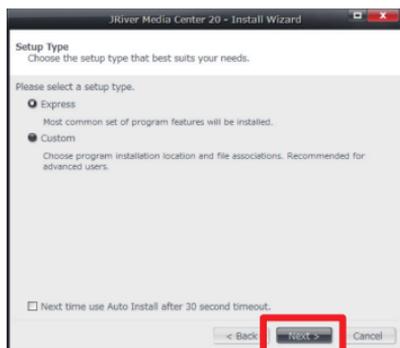
STEP.1

END-USER LICENCE
AGREEMENT (ライセンス許諾契
約書) の内容を確認後、
「Accept」をクリックします。



STEP.2

Setup Type (セットアップの種類)
の「Express」を選択し、
「Next」をクリックします。



STEP.3

パソコンにファイルがコピーされる
間、しばらくお待ちください。



STEP.4

「Next」をクリックします。本ソフトと関連付けるファイル形式にチェックを入れて、最後に「Next」をクリックします。

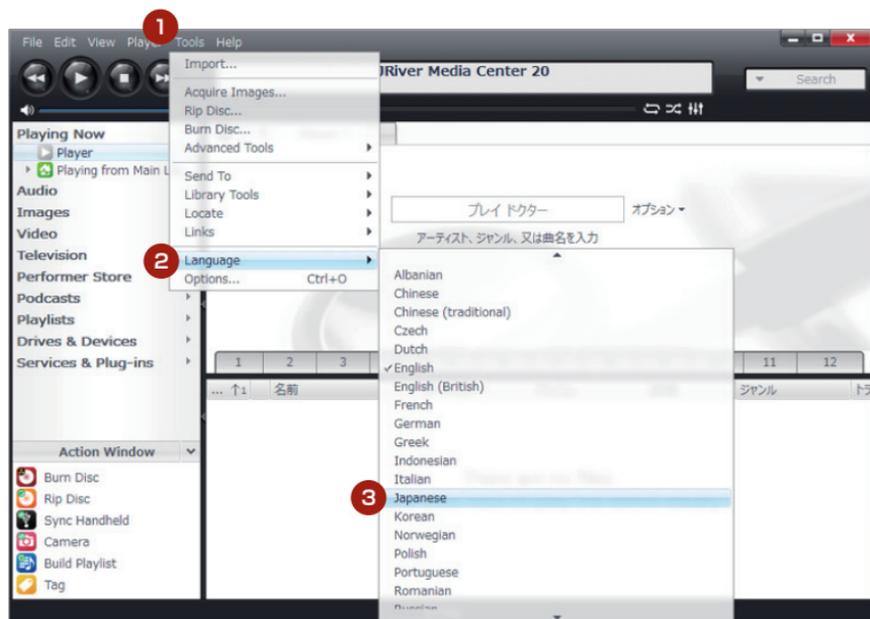


STEP.5

以上でインストールは完了です。



画面上方にあるメニューから、Tool ▶ Language ▶ Japanese の順にクリックして頂くと、言語が日本語に切り替わります。



1 Tool ▶ 2 Language ▶ 3 Japanese

※ライセンスキーの登録にはインターネット接続環境が必要です。

▶ STEP.1

日本語への切り替えが完了しましたら、画面上部の「ヘルプ」メニューから「ライセンスの登録」を選択してください。



▶ STEP.2

登録コードを入力(またはコピー&ペースト)し、「はい」をクリックします。



STEP.3

以下のユーザー情報入力フォーム(英語)が表示されます。必要情報(赤字欄)を入力して、「Restore」ボタンを一度だけ押してください。「Company」など黒字部分は任意でご入力ください。

J. River, Inc.

Please complete the following information:

Name: Taro Yamada

Company:

Email: abc@ging.com

Password: *****

Repeat Password: *****

Address:

City:

State:

Zip/Postal Code:

Country:

Phone: 123-456-7890

Restore
Click once only

This site uses SSL encryption for secure transactions

MasterCard
VISA
PayPal

STEP.4

右記の画面が表示されます。画面上部に表示されている登録コードのリンクをクリックします。

または、画面下にWindows のメッセージが表示されるので、「ファイルを開く」をクリックします。

J. River, Inc.

Your registration code is: xxxxxx-xxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

It should have been installed on your PC automatically, but you can also:
Click on the link above to install it

or

Right click on the link (if you are using Internet Explorer) and choose "save target as" to save it on your PC for backup purposes or for installing on additional PC's (14 day limit).

For more information, please see the [FAQ](#)

This site uses SSL encryption for secure transactions

MasterCard
VISA
PayPal

rover.jriver.com から Media Center20 Windows-286515.mjr (1.23 KB) を開くか、または保存しますか?

ファイルを開く(O) 保存(S) キャンセル(C)

STEP.5

登録コードが自動的にインストールされ、製品版としての登録が以上で完了します。

情報

Media Center のライセンスがインストールされました。

はい

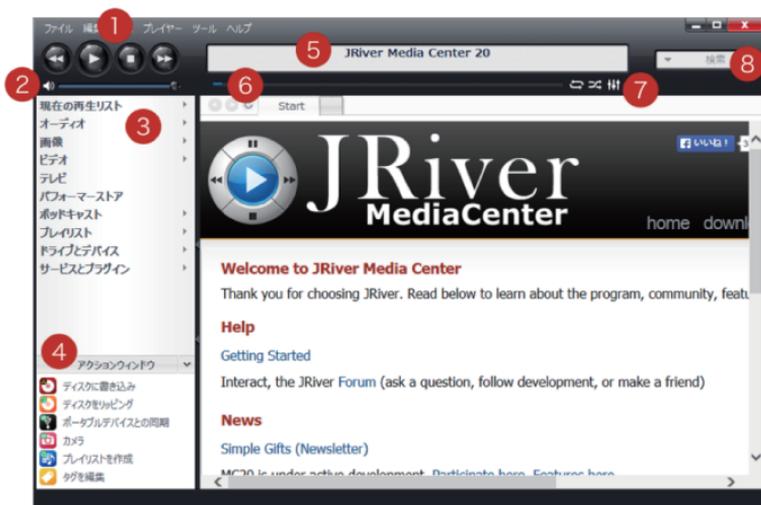
▶ STEP.1

Windows の「設定」からコントロールパネル画面にアクセスし、「プログラムと機能」画面を表示します。

▶ STEP.2

「プログラムと機能」画面で、「JRiver Media Center 20」を選択し、「アンインストール」または「アンインストールと変更」を選択します。画面の指示に従ってアンインストールを完了させます。

※上記は Windows 8 画面上でのアンインストール方法となります。お使いの OS によっては、手順が多少異なる場合がございます。



- ① **再生コントロール:**
巻き戻し、再生、停止、早送りの操作ができます。
- ② **ボリュームコントロール:**
音量を細かく操作できます。
- ③ **インポートした音楽映像リスト**
 - ▶ **現在の再生リスト:**
再生中のメディアを表示します。
 - ▶ **オーディオ:**
アルバム、アーティスト、ファイル形式、ジャンル毎に表示できます。
 - ▶ **画像:**
アルバム、日付、ファイル形式、キーワード毎に表示できます。
 - ▶ **ビデオ:**
ファイル形式、映画、ホームビデオ毎に表示でき、YouTubeもこの項目から良い音源で見られることも出来ます。
 - ▶ **ドキュメント:**
音楽、映像ファイル以外のファイルを日付、ファイル形式毎に表示できます。
 - ▶ **ポッドキャスト:**
登録されているポッドキャストのダウンロード、すでにお持ちのポッドキャストを表示することが出来ます。
 - ▶ **プレイリスト:**
インポートした音楽を自分の好きなプレイリストを作成して保存できます。
- ▶ **ドライブとデバイス:**
接続されているCD / DVD、その他ハードディスクを表示出来ます。
- ▶ **サービスとプラグイン:**
本製品のプログラムのライブラリ数、バージョン情報、メモリ使用量などを確認することが出来ます。
- ④ **アクションウィンドウ:**
インポートされた音楽映像ファイルの書き込み、音楽CD、ポータブルメディア、デジタルカメラから直接ファイルの読み込みを行うためのショートカットです。
- ⑤ **再生中メディア情報:**
再生中のタイトル、アルバム名等が表示されます。
- ⑥ **再生中位置の表示:**
再生中のメディアの再生位置をコントロールできます。
- ⑦ **再生メディアコントロール:**
再生メディアのリPEAT、シャッフルや、DSP スタジオ、再生オプションへはここでコントロールできます。
- ⑧ **検索バー:**
読み込んだすべてのメディアの検索が可能です。

ファイル 編集 表示 プレイヤー ツール ヘルプ

1

2

3

4

5

6

1 ファイル:

各メディアファイルの管理、プレイリストのインポート・エクスポートなど、ファイルに関連する項目です。メディアセンターで作成した音楽リストを iTunes や iPhone にエクスポートすることができます。

2 編集:

各メディアの名前変更など、編集に関連する項目です。

3 表示:

メディアセンターのスキン変更、他の作業中に気にならないサイズにする縮小モードなど、インターフェイスの変更に関連する項目です。

4 プレイヤー:

再生や音量など、音楽映像の再生に関連する項目です。

5 ツール:

言語の変更のほか、メディアセンターへ音楽映像の読み込み等に関連する項目です。

5 ヘルプ:

ライセンスのご登録、ヘルプ情報、サポートに問い合わせる際のログ記録など、製品サポートに関連する項目です。

▶ 7-1. ファイルをインポートするには...

Media Center (以下、「MC」といいます) にファイルをインポートするには、そのファイルの情報をライブラリと呼ばれる MC のデータベースに入力する必要があります。

ファイルをインポートすることにより、データベースにアクセス可能となるだけでなく、ファイルの閲覧や編集、名前変更、整理が簡単にできる等、沢山のメリットがあります。今までのように、フォルダの中を整理し、またファイルを開いてようやくお目当てのファイルを見つけるという、うんざりする作業とはおさらばです。サポートされているファイル形式なら、どんなファイルでもインポートすることができます。

ファイルのインポート後に行なえる作業:

- ▶ アーティスト順、アルバム順、ジャンル順、サイズ順、長さ順、または自分用にカスタマイズした順番でファイルを閲覧
- ▶ メタタグの編集(サポートされたファイル形式の場合は直接ファイル内で編集可能)
- ▶ カスタムフィールドとカバーアートの追加
- ▶ プレイリストやスマートリストへの追加
- ▶ MC 独自の検索システムを利用することで、どんなファイルでも瞬時に検索可能
- ▶ メディアをメディアビューのコレクション内で整理し、お好みに設定したタグにより、どのような順番でも閲覧可能

ファイル管理システムとしての Media Center の長所は、ライブラリ内でのファイルの管理能力が優れているところにあります。インポート作業は単純に、Media Center にファイルの情報を与え、データベースに追加することです。インポートによるファイルへの支障は無く、更にいちいちタグ付けをしなくてはいけないなど、面倒な作業を自動化することが可能です。

▶ ファイルのインポート方法

Media Center にファイルをインポートする方法は、下記の通りになります。

- ▶ ライブラリが空の状態 で MC を開く(自動インポート)
- ▶ MC でファイルを再生する(自動インポート)
- ▶ ファイルをドラッグ&ドロップする
- ▶ 「シェル統合」を使用する
- ▶ ツール|インポート からメディアのインポートウィザードを使用する
- ▶ 自動インポート機能を使い、指定したディレクトリ内に追加されたファイルを自動でインポートする

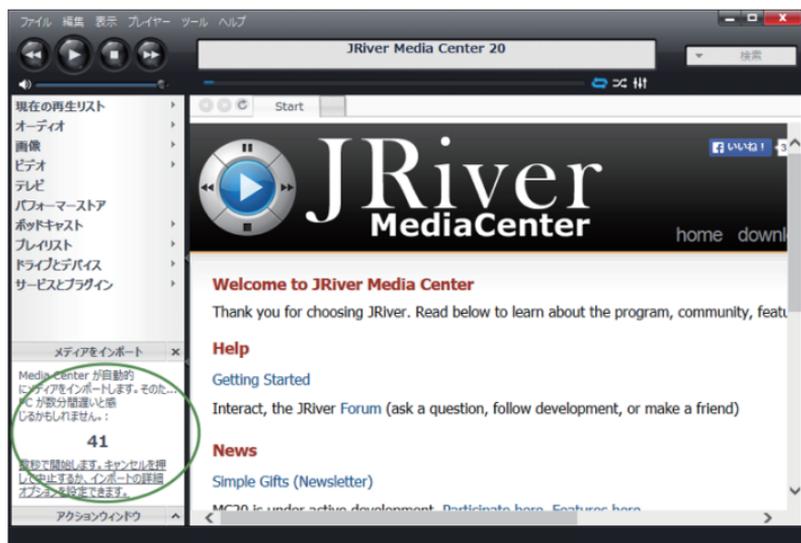
新しいコンテンツをインポートする際には、通常は自動インポート機能を使用してディスク上のメディアロケーションを監視し、自動的にインポートする方法が好まれます。初回スキャンを行なうと、ファイルが発見されたロケーションを自動的にバックグラウンドで監視するように設定されます。

▶ 初回使用時の完全自動スキャン

Media Center を初めて起動した際、またはライブラリが空の状態が開かれた場合、Media Center はコンピュータを解析し、ユーザー毎に様々な場所に保存されたメディアを見つけ出して自動インポートを行います。これらの作業は Media Center のアクションウィンドウ領域にて行なわれます。自動インポートで使用されるディレクトリを自分で設定したい場合や手動でインポートを行ないたい場合は、この作業をキャンセルすることが可能です。

Media Center をすぐ使い始めたい方は、この機能を使用するのが最も早く、簡単な方法です。更に細かい設定を行ないたい場合は、後で設定を調整してください。

ライブラリが空の状態が開かれた際、Media Center は 45 秒間そのままの状態を保ち、ユーザーはその間自動スキャンをキャンセルすることが可能です。その後、自動スキャンが開始されます。



もしこのカウントダウン時間内にキャンセルすることができず、Media Center が不要なコンテンツをインポートしてしまっても心配無用です。インポート作業はメディアに支障を与えることはなく、デフォルトでは初回時にライブラリが空の状態である場合でしか自動インポートが実行されないため、ライブラリをクリーニングして、もう一度初めからインポート作業を行うことができます。クリーニングやバックアップは、「ファイル」メニューから実行できます。

▶ ワンタイムインポート

MC では個々のファイルやフォルダを選択し、インポートすることが可能です。これらのインポートは「一度きり」のインポートとなるので、自動インポート機能のようなアドバンテージはありません。

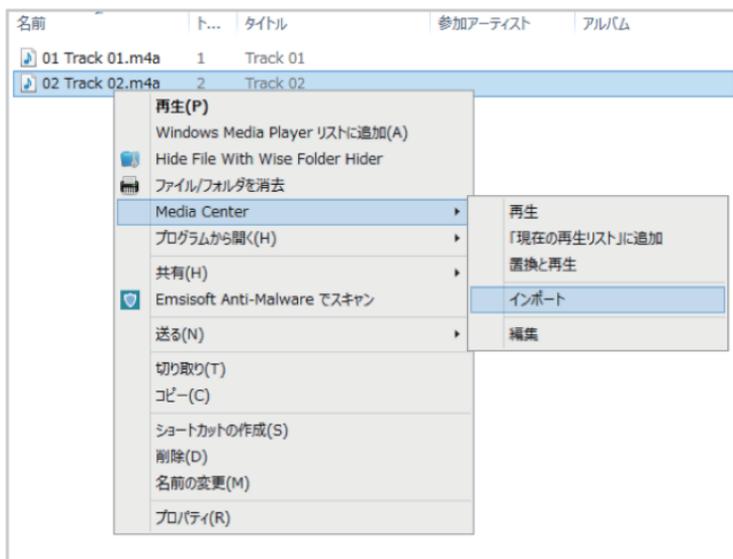
▶ プレイバック

インポートされていないファイルを Media Center で再生した場合、そのファイルは自動的にインポートされます。この設定をオフにしたい場合は、ツール | オプション | 全般 | インポートとタグ にアクセスし、「再生時にファイルを自動的にインポート」を選択してください。

▶ シェル統合、ドラッグ&ドロップ

Windows Explorer から直接ファイルをインポートすることが可能です。この機能により、自動インポートで設定したタグ設定を無視し、ファイルをそのままの状態にインポートすることができます。

シェル統合を使用し、Windows Explorer からインポートする場合は、ファイルまたはフォルダを右クリックし、Media Center | インポートを選択してください。



Windows Explorer からドラッグ&ドロップで MC にインポートすることも可能です。

▶ 単一フォルダからインポート

サブディレクトリを含むフォルダを Media Center にインポートする場合、「メディアのインポート」ウィザードの「単一フォルダからインポート」機能を使用することができます。ツール | インポート でアクセス可能です。また、ファイル | ライブラリ | インポート または、(ライブラリを選択した状態で)ライブラリマネージャーからも同じ機能にアクセスできます。



このオプションを選択した場合、「メディアのインポート」のフォルダ設定ダイアログが表示されます。

フォルダ設定ダイアログでは、検索するフォルダやインポートするファイル形式、自動的にオプションでタグを付けるなど、詳細な設定ができます。このダイアログは、自動インポートの設定画面とほぼ同じ内容になります。



▶ 自動インポート:フォルダ設定

この操作は一度切りの操作となるので、入力されたロケーション等の設定は記憶されません。(実行毎の設定のみ保存されます。)同じフォルダから繰り返してファイルをインポートしたい場合、下記の「自動インポート」機能をご利用ください。

▶ 自動インポート

Media Center は、完全な自動インポート機能を搭載しています。このシステムにより、以下の操作が可能です

- ▶ 別々のオプションが設定されているメディアのフォルダ作成
- ▶ 設定されているフォルダの手動スキャン
- ▶ Carnac (ファイル名検索機能) と Media Center の自動メタデータ検索機能を最大限に活用
- ▶ あらかじめ設定されているインポートルールに従い、自動的にファイルへタグ付け
- ▶ 他の操作やネットワークアクセスを遅らせることなく、設定されたフォルダをバックグラウンドで監視し、新たなファイルを自動インポート

▶ 7-2.ファイルを再生するには...

音楽や画像、動画、CD、DVDを再生できます。お使いのパソコンや外付けメディア、またはネットワーク上に保存されているファイルを再生することも可能です。Media Center の「ライブラリサーバ」を使えば、リモート接続によるファイル再生も可能です。仕事場においても自宅のパソコンに保存されている音楽を聴くことができます。または、WebRemote を使って、キッチンにあるノートパソコンからリビングのプレイバックをコントロールすることも可能です。

▶ 7-3.ディスクをリッピング...

音楽や画像、動画、CD、DVDを再生できます。お使いのパソコンや外付けメディア、またはネットワーク上に保存されているファイルを再生することも可能です。Media Center の「ライブラリサーバ」を使えば、リモート接続によるファイル再生も可能です。仕事場においても自宅のパソコンに保存されている音楽を聴くことができます。または、WebRemote を使って、キッチンにあるノートパソコンからリビングのプレイバックをコントロールすることも可能です。

▶ 7-4.ディスクに書き込み...

CD-R/RW をお持ちの方は、ライブラリ内のファイルを使用して、独自のオーディオまたはデータ CD または DVD を作成することができます。オーディオ CD は、任意の CD プレーヤーで再生することができます。データ CD / DVD は MP3 や WMA ファイルを処理できるコンピュータで再生可能です。オーディオ形式を選択した場合は、ファイルを WAV 形式に変換してから CD への書き込みを開始します。

すべての CD-R/RW がオーディオシステムで再生可能であるわけではないことを注意する必要があります。

▶ 7-5.メディアファイルを整理するには...

Media Center には、インポートされたファイルに関するすべての情報、メディアビューの構成やデザイン、ライブラリ内の内部データベース上の情報等が記録されています。

このコンセプトは、実際にメディアファイルを保存している場所や、メディアファイルそのものとは異なっています。

ライブラリには以下のものを保存できます

- ▶ インポートされた個々のメディアファイルのエントリー及びメタデータ(アーティスト、ジャンル、シーズン、シリーズ、説明、メディアタイプ等)
- ▶ スタンダードビューのツリー、シアタービュー、そしてメディアネットワーク(接続された DLNA デバイス等)を含むメディアビューの構成とデザイン
- ▶ ユーザー
- ▶ ライブラリ毎の自動インポートの設定

Media Center は、複数の独立したライブラリを保有し、更にネットワーク上の他の Media Center のライブラリにリモート接続する事が可能です。しかし、MC は一度に一つのライブラリしか読み込むことができないので、順番に一つずつ起動することになります。

▶ ライブラリマネージャー

ライブラリマネージャーを使用することで、Media Center ライブラリの設定を変更したり、オプションを設定することができます。

ライブラリマネージャー では、複数の独立したライブラリの設定や変更を行なうことができます。ただし、一度に一つのライブラリを読み込むことしかできませんのでご注意ください。このため、異なるファイル形式のファイルを一度に使用したい場合、ライブラリの変更はやや厄介です。異なるファイルのセットを異なるユーザーとシェアしたり、メディアのジャンルやタイプを分離(クラシック音楽とロックミュージックの分離等)したい場合、ユーザー設定をするか、メディアビューをカスタマイズすることを推奨します。

ライブラリマネージャーでは以下のタスクを行なうことができます

- ▶ 現在のライブラリをバックアップ
- ▶ ライブラリの追加
- ▶ 存在するライブラリの複製
- ▶ 現在のライブラリが保存されている場所の検索
- ▶ MC のメディアネットワークを起動しているリモートライブラリサーバへの接続
- ▶ ライブラリのメタデータをインターチェンジの為に XML へのエクスポート



▶ ローカルドライブ上の保存場所

デフォルト設定では、ライブラリは下記のディレクトリに保存されます。

```
C:\Users\\AppData\Roaming\J River\Media Center
```

Media Center は、メタデータの検索やアプリケーションの行動等、全てのオペレーションにライブラリのファイルを使用しています。このため、ライブラリが存在するディスクのパフォーマンスが重要となります。ライブラリファイルのサイズは大きくないため、コンピュータ上の内部ディスク(SSD 推奨)へ保存してください。

▶ バージョン比較

Media Center のライブラリファイルは、お使いのバージョン特有の物で、前のバージョンとの互換性はありません。例として、MC19 で作成されたライブラリは、MC18 ではお使い頂くことができません。古いバージョンの Media Center にフォーマットされたライブラリを手動で新しいバージョンのものに読み込んだ場合、ライブラリはプロセスの最中にアップグレードされ、古いバージョンで使用することはできなくなります。新しいバージョンから古いバージョンの MC をお使い頂く必要がある場合、古いバージョンのライブラリをバックアップしてから、新しいバージョンにアップグレードしてください。

注意: 現行バージョンから次にアップグレードする際、ユーザー設定を含むライブラリのバックアップを復元することができます。

更に、Media Center のライブラリファイルは現在 OS 特有となっており、Windows 版の MC は Mac バージョンのライブラリを読み込むことができず、またその逆も不可能となっています。しかし、MC の メディアネットワーク機能は、クロスプラットフォームが可能です。つまり、別の OS で使用されている MC のネットワークライブラリを、直接ではありませんが読み込むことができます。この制限は主に、OS 毎にファイルシステムやパスの構成の違いから発生します。

▶ ライブラリへのメディアの追加

ライブラリへメディアを追加するプロセスはインポートと呼ばれ、Media Center を使用するにあたり一番最初に行なう作業です。インポートとは単純に、Media Center にファイルの情報を教え、その情報をデータベースへと追加するプロセスのことです。インポートは元々のファイルに支障をあたえることはなく、更に、面倒なタグ付けの作業も自動的に行なうことができ、簡単なブラウザを可能にします。

▶ 柔軟な管理

ほとんどのプログラムでは、アーティスト、アルバム、ジャンル、コメント等の基本的な項目に沿ってメディアを整理することができます。しかし、Media Center はこれらの項目だけでなく、自分の好みに合わせてデータベースの項目を作成し、更にその中のいくつかの情報をメディアファイル自体に保存することが可能です。作曲家、オーケストラの指揮者、監督など、お好きなようにカスタマイズすることができます。

▶ プレイリストとスマートリスト

Media Center は、プレイリストとスマートリストというさらなる柔軟性を提供します。これらのツールは、選択した機能に応じてファイルを管理することができます。

プレイリストは手動で順番を並べ替えたリストで、トラックの順番を保持したいときに使用されています。例えば、特定の順番で曲をアレンジした「Top 40 1971」というプレイリストを作成したり、お気に入りの曲を集めたコンピレーションプレイリストを好きな順番で作成することもできます。さらに、お気に入りのラジオ局のプレイリストを作成すれば、いつでも簡単にアクセス可能になります。

スマートリストはファイルリストの代わりにルールを保存する特別な種類のプレイリストです。スマートリストを作成するために使用できるルールの組み合わせは何百通りもあります。スマートリストは、基本的に検索を記憶したもので、ファイルに加えられた変更に応じてその都度順序を決定します。

プログラムには数種類の既成されたスマートリストが含まれています。それらを使用するには、プレイリストを右クリックして、「ストックスマートリストを追加」を選択します。

- ▶ 4 つ星以上の評価
- ▶ 100 曲ランダム
- ▶ 今月追加された曲
- ▶ カバーアートのない曲
- ▶ 最近再生されていない曲

スマートリストを作成する際に、スマートリストルールフィールドの横にある矢印をクリックすると、より多くのストックスマートリストにアクセス可能です。任意のデータベースフィールドやカスタムフィールドを含むまたは除外するためのルールを使用して、自分だけのスマートリストを作成することもできます。

▶ 評価システムとその他のフィールド

Media Center の「5 つ星評価システム」を使えば、トラック、写真、動画を手軽に評価することができます。また、Media Center には、リプレイゲインや BMP、強度、幅や長さ(画像に便利)などのフィールドがあります。必要なフィールドが見つからない場合は、カスタムフィールドをいくつでも作成できます。そしてもちろん、データベースフィールドや ID3 v1 や v2 タグも簡単に編集可能です。

▶ 柔軟なメディアビューと検索機能

お好みでファイルをカテゴリ化できるだけでなく、ファイルの表示方法を選択することができます。メディアモードを使って、特定のファイルやビューのみを選択して表示できます。メディアビューはいくつでも作成可能です。例えば、オーディオモードでの「ジャンル/年」のビューでは、全体のミュージックデータベースを「ジャンル/年」で表示できます。さらに、カスタムデータベースフィールドを使ってビューを作成することも可能です。例えば、「国内」というカスタムフィールドを作成した場合、そのフィールドを含むビューを作成することができます。これにより、数クリックですべての「日本」ファイルを表示することができます。

分割表示機能(表示メニュー内)では、最高3つのペインを一度に表示することができます。これらのペインは、再生中、メディアビュー、プレイリスト、またはツリー上のすべてとの組み合わせが可能です。

▶ 7-6.画面スキームを使用...

Media Center に既に取り込まれているライブラリ(ファイル|ライブラリ)の順番をカスタマイズします。

- ▶ すべてのオーディオやビデオ、画像ファイルを素早く表示するには「メディアモード」を使用します。
- ▶ 選択したファイルのみを素早く検索します。オーディオモードを使用している場合は、検索文字列に一致するオーディオファイルだけが検索バーに表示されます。
- ▶ メディアモードによる表示方法をカスタマイズできます。(リストや画像、アルバム画像)
- ▶ メディアモードを選択すると、そのモードに関連する表示方式が表示されます。
- ▶ すべてのビューや特定モード(例: オーディオモード)や単一のビューで、すべてのビューの列と列の順序をカスタマイズできます。
- ▶ アクセスコントロールを使ってファイルをフィルタリングできます。また、スマートリストのルールを作成すれば、特定のファイルを非表示にできます。ホリデーミュージックやR指定のビデオを非表示にしたい場合に便利です。
- ▶ 分割表示を使用して、複数のツリー項目を一度に表示できます。

▶ 7-7.プレイリストを管理...

プレイリストとは指定されたリストであり、トラックの内容を指定したいときに使用します。例として、トラックの内容を指定したい場合、「Top 40 1971」というプレイリストを作成することが可能です。

また、お気に入り曲のプレイリストを作成したり、お気に入りのラジオ局のプレイリストも作成することができ、いつでも簡単に再生したいプレイリストにアクセスできます。

プレイリストを作成することで、指定したグループのメディアをプレイリストとしてまとめ、簡単にアクセスすることが可能になります。

プレイリストはツリーからアクセス可能です。

「最近再生したアイテム」--- 自動で生成されたプレイリスト

「現在の再生リスト」にファイルが追加されるたびに、現在の再生リストはアップデートされ、Media Center を終了するまで保存されます。リストにアクセスするには、ツリー内のプレイリストの下にある、「最近再生したアイテム」を選択してください。「最近再生したアイテム」を非表示にし、その後表示させて画面を更新させる必要がある場合があります。

注意:「最近再生されたアイテム」は、初めて「現在の再生リスト」が修正されたときに作成されます。「現在の再生リスト」は、ソフトを終了するまで保存されます。

▶ 7-8.ファイルプロパティを編集...

Media Center を使用して、様々な方法でファイルのプロパティを編集できます。

- ▶ 一つのプロパティ(例: アーティスト名)を変更したい場合、ペイン上で直接編集するのが最も簡単な方法です。
- ▶ ファイルのタグを全て入力する場合は、画面左下のアクションウィンドウを使うのが便利です。

▶ 7-9.メディアファイルを検索...

素早く検索できるように、「検索バー」は常にプログラムの画面右上に表示されています。

検索バーは選択されているメディアモードに依存するため、オーディオモードが選択されている場合、オーディオファイルのみが検索されます。すばやく検索バーに移動する場合は、Ctrl + F を入力してください。

- ▶ 検索する場合、まずメディアモードを選択し、検索したい用語を入力するか、または検索バーにある矢印をクリックしてウィザードを使用してください。

▶ ログの送信方法

弊社では、サポート業務において、ログファイルを使って原因を調査する場合がございます。ログとは、ソフトウェアが実行した処理の内容や、処理の中でおこったエラーなどを出力したものです。

▶ STEP.1

「ヘルプ」メニューから「ログを記録」を選択します。



▶ STEP.2

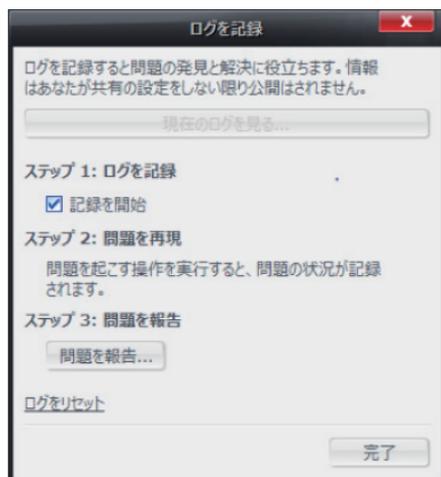
「ログを記録」ダイアログの「記録を開始」を選択します。

▶ STEP.3

問題が起こった操作を再度行います。

▶ STEP.4

「問題を報告」をクリックし「完了」ボタンを押したら完了となります。



弊社ソフトウェアに関する技術的な質問またはお問い合わせは、下記までお問い合わせ下さい。

GING ユーザーサポート

✉ **E-Mail: info@ging.co.jp**

※ 3営業日以内にご返答させていただきます。

動作環境

- 対応 OS: Windows Vista/7/8/8.1
- HDD : 300 MB (インストール時)
- その他: インターネット接続環境必須

【開発・販売元】株式会社GING (<http://ging.co.jp>)

〒153-0042 東京都目黒区青葉台1-6-39

【問合せ専用アドレス】: info@ging.co.jp

Ging